

## 第3回「広島県の歴史と文化セミナー」

12月9日(水) 18:30-20:00

定員 30名

受講料 500円

### 教育の中心地、広島 — 広島高等師範学校の遺産



広島は昔から「教育の西の本山」と言われてきました。教育に力を入れるとともに、数多くの優秀な教育者や教育研究者を輩出してきたのです。その中心になったのが明治35(1902)年に創設された広島高等師範学校でした。

広島高等師範学校は、全国から教育を志す優秀な生徒を集め、また、卒業生を全国に送り出してきました。時に学閥の強さを揶揄されることもありましたが、それほど各地域での広島高等師範学校の影響力は強かったのです。広島高等師範学校の卒業生たちは、師範学校のみならず、中学校、高等女学校で教員として卓越した手腕を発揮するとともに、校長として学校運営や教育行政を支えてきました。その影響力は戦後にも及び、現在も引き継がれています。

しかし、広島高等師範学校がどんな学校だったのか、また、広島にとってどのような意味を持った学校であったのかはあまり知られていません。広島高等師範学校を振り返ることで、現在の広島の教育を見直してみたいはいかがでしょうか。

#### 講師紹介 山田 浩之(やまだ・ひろゆき)



広島大学大学院教育学研究科教授。教育学博士(論文題目:旧制中等教員社会の階層構造に関する歴史社会学的研究、広島大学)。

昭和39年、広島市出身。専攻は教育社会学。戦前の中等教員養成機関、とくに高等師範学校と帝国大学の関係、および、両機関の卒業生について歴史社会学により研究している。近年は、現在の教員の現状を明らかにするライフヒストリー研究なども行っている。また、マンガなどのメディアに描かれた教師像や子ども像についてのユニークな研究もある。

お申込みにつきましては、①お名前、②年齢、③E-Mail アドレス、④連絡先電話番号とご住所、をご記入の上、E-Mail もしくはFAXにて受付いたします。なお、受講料500円は当日ご持参ください。

#### コミュニティ・アカデミー上幟

〒730-0014 広島市中区上幟町 10-15-201 島田ビル 2F

E-Mail : c.a.kaminobori@outlook.jp TEL&FAX : 082-225-8103